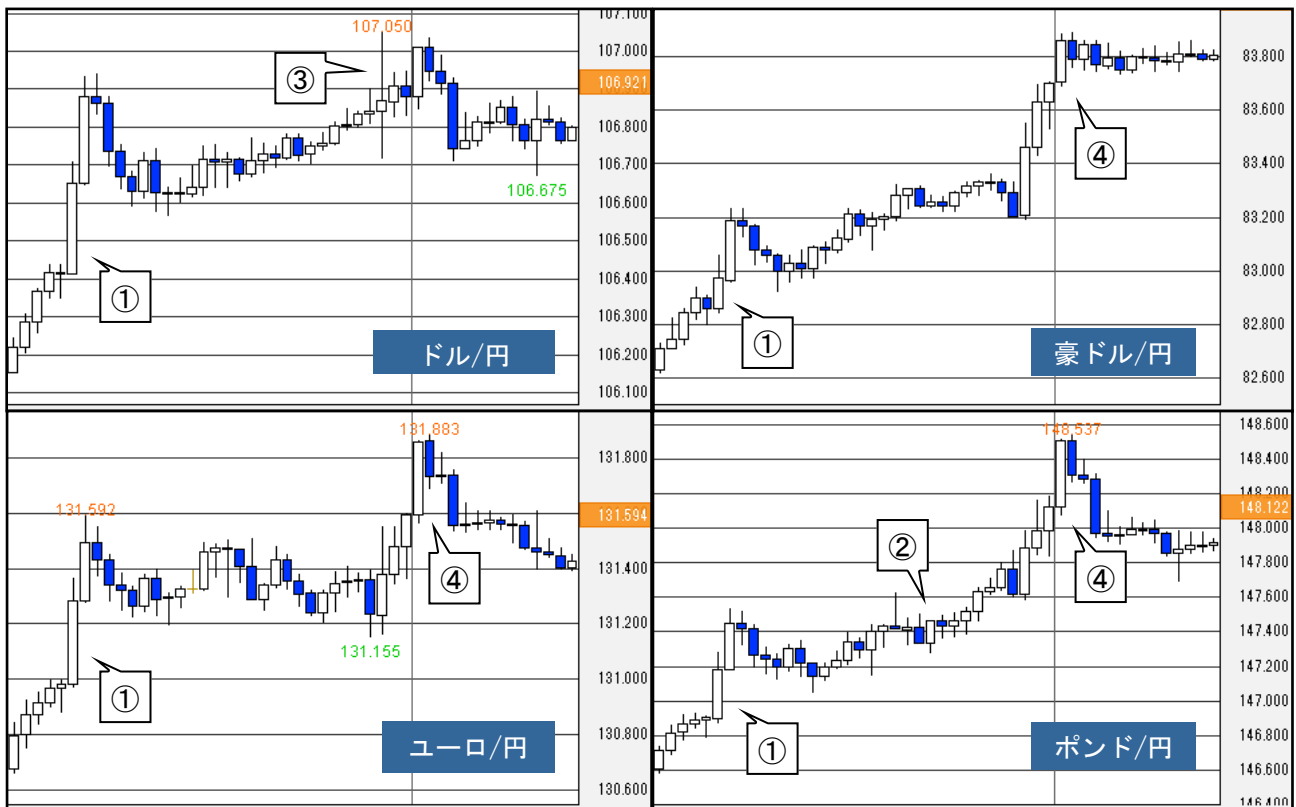


3月12日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、年初来の上値抵抗を突破

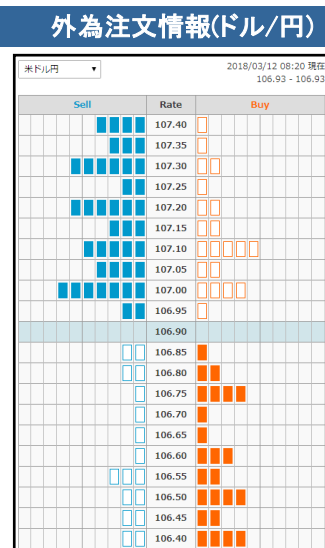
9日(金)の為替相場



期間：9日(金)午前7時10分～10日(土)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 訪米中の韓国特使が「金委員長は、北朝鮮が核実験やミサイル実験を控えることを約束した。トランプ大統領は5月までには金正恩に会うと言った」と発言した事が伝わると、地政学リスクが緩和したとの見方から円売りが強まり、ドル/円やクロス円が上昇した。
- ② 英1月鉱工業生産は前月比+1.3%と市場予想(+1.5%)を下回る伸びにとどまった。また、英1月貿易収支は123.25億ポンドの赤字となり、赤字額が予想(119.00億ポンド)を上回った。ただ、いずれもポンド相場への影響は小さかった。
- ③ 米2月雇用統計は、非農業部門雇用者数31.3万人増(予想20.5万人増)、失業率4.1%(同4.0%)、平均時給は前月比+0.1%(同+0.2%)、前年比+2.6%(同+2.8%)という強弱マチマチの結果であった。平均時給の伸びが予想を下回った事からドル売りが先行したが、非農業部門雇用者数が大幅に増加(前2カ月分も合計5.4万人上方修正)した事や、労働参加率が63.0%に上昇した(にもかかわらず失業率は悪化しなかった)事などが見直されてドルが反発。ただ、ドル/円の値幅は上下ともに限定的だった。
- ④ 米2月雇用統計で平均時給の伸びが鈍化した事を受けて、物価が急速に上昇するとの懸念が後退。米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げペースを上げる事もないとの見方から欧米の株価が上昇する中、クロス円を中心に円売りが優勢となった。なお、米国のナスダック総合指数は約1カ月半ぶりに終値ベースで史上最高値を更新した。

9日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21469.2	5963.233	3307.166	7224.51	12346.68
△101.13	△20.366	△18.760	△21.27	▼8.89
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25335.74	0.0530%	2.783%	1.492%	0.648%
△440.53	▼0.0010	▼0.021	△0.019	△0.020
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.2580%	2.8938%	62.04	1324.00	
△0.0081	△0.0367	△1.92	△2.30	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	106.300-107.600	130.800-132.300	83.500-84.600	147.300-149.000

【ドル/円】

9日のドル/円は、米朝間の緊張緩和や日銀のハト派姿勢に加え、強すぎでも弱すぎでもない米2月雇用統計を受けて終日堅調に推移。107円台では伸び悩んだものの106円台後半を終値でも維持した。月初来の上値抵抗であった日足一目均衡表の転換線(106.462円)を突破したほか、1月高値(113.385円)と2月高値(110.479円)を結んだ年初来の上値抵抗ラインを上抜けた。この流れを確かなものにできるか、本日の動きが重要となりそうだ。

注目イベントは多くないが、急展開を見せている本邦財務省の決済文書書き換え問題の行方は気にしておきたい。现阶段でこの問題が円相場に与える影響を判断するのは難しいが、仮に安倍政権の致命傷になるようだと、政局不安による円安よりもアベノミクス後退との見方による円高のほうが強く出る可能性もある。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
3/12(月)	10:10		(日) 日銀国債買入れ(5-10年、10-25年、25年超)	---	---
	24:30		(米) 3年債入札(280億ドル)	---	---
	26:00		(米) 10年債入札(210億ドル)	---	---
	27:00		(米) 2月月次財政収支	-1920億ドル	-2160億ドル
	—		(ユーロ圏) 財務相会合	---	---
3/13(火)	09:30		(豪) 1月住宅ローン貸出(前月比)	-2.3%	-0.2%
	09:30		(豪) 2月NAB企業信頼感	12	---

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。